

2022年度連合置賜地協活動方針

I. 運動の柱として 「やれない理由探しよりもやれる方法を考える」

地域協議会は「顔の見える連合運動」の拠点であり、職場組合員はもとより、未組織労働者をはじめとした地域住民と最も近い存在である為、「中小・地場労働者の拠り所」・「組織拡大の重要な拠点」としての機能を更に強化し、労働環境の向上をめざし組合づくり・仲間づくりを支援していく活動に力を注がなくてはなりません。

また、私たち働くものの生活向上の為に、各級議員選挙において精力的に活動し支援議員団との連携を強化しながら、各自治体や行政機関への請願・要請行動を進め連合が掲げる政策・制度の実現に努めなければなりません。

その為、連合山形置賜地域協議会は、2021年11月10日（水）開催の連合山形第34回定期大会で決定した2022～2023年度活動方針に準じ、「組織拡大と強化」を最重点活動と位置付け、連合置賜地協幹事会において課題解決に向けた議論を熱心に重ねながら、労働相談と共に労働金庫やこくみん共済coop等の労働福祉事業団体等と連携し、地域の未組織労働者も含めた労働者福祉運動を積極的に推進し実行に移して参ります。

これらの運動を目標に掲げ達成する為には、連合置賜地協構成組織や組合員の理解と協力が不可欠であり、その力を結集すべく、『丁寧で気配りのある地域協議会と各地区連絡会』である事を常に心掛け、併せて『前年度の評価と課題を活かした具体的な目標』を運動の柱とし、積極的に活動して参ります。

しかし、新型コロナウイルス感染症は期待されたワクチン供給の遅れや新たな変異株の猛威によって未だ収束が図られておらず、感染拡大防止の為、日常生活をはじめとした社会的な活動は昨年引き続き制限が成されたままの状態となっております。

希望する方々全員へのワクチン供給が図られ感染が収束されるには更に時間を要すると見込まれており、連合置賜地協2022年度の活動は「with/after コロナ」を念頭に入れながらこれまで同様様々な目標を掲げ運動を推進して参りますが、置賜地協・各地区連絡会による全ての活動実施にあたっては『連合山形が適宜示す感染防止対策方針を遵守しつつ、且つ置賜地域や当該地区内での感染状況を注視しながら、参加型会議や集会・イベントの開催可否を慎重に判断する』事を前提に、「やれない理由探しよりもやれる方法を考える」を活動の基礎としながら連合運動を推進して参ります。

Ⅱ. 具体的な運動方針

1. 執行体制・組織体制・役員体制について

地区	具体的な目標
置賜地協	連合置賜地協幹事会役員体制を確立し、定期的な幹事会の開催を心掛け、地域情勢を見据えながら課題解決に努め「組織強化を重点とした連合運動の充実・拡大と地域に顔の見える運動」を積極的に進めます。

2. 機関会議の開催について

地区	具体的な目標
置賜地協	連合山形執行委員会確認の内容を基に、『運動の柱』を遵守し、定期的な幹事会の開催に努め、必要に応じ四役会・臨時幹事会・持ち回り幹事会等を開催し、直近の課題に対し遅滞無く解決する様に努めます。
各地区連絡会	『運動の柱』を遵守し、地域課題に対し役員会を適宜開催し、外郭団体と連携を密にして円滑な活動となる様に努めます。

3. 2022春季生活闘争の取り組みについて

地区	具体的な目標
置賜地協	2022年度連合本部・連合山形の春季生活闘争方針に基づき取り組む事を基本とし、構成組織各組合の賃金改善・底上げの一助となる様、『運動の柱』を遵守し、各地区での春闘学習懇談会を開催します。
	連合山形からの各種要請に対し、積極的に幹事会役員や青年・女性委員会役員を派遣し、運動の盛り上げに努めます。
	『運動の柱』を遵守し、「Action!36」の取り組みを置賜地域内に広く周知・世論喚起を行う事を目的として、3月から6月までの春闘時期に街頭や地協車での街宣アピール行動を実施します。

4. 2022置賜地域メーデーの開催について

地区	具体的な目標
置賜地協	『運動の柱』を遵守し、県中央メーデーの方針に準じ各地区への財政支援や昨年度実施した置賜地域全体としての取り組みを行い、地域労働者全体の祭典として盛り上がる様に努めます。
各地区連絡会	『運動の柱』を遵守し、県中央メーデーの方針に準じて実行委員会体制を確立し、地区全体における労働者の祭典となる様に努めます。

5. 組織の強化・拡大と地域社会で影響力のある労働運動の推進について

地区	具体的な目標
置賜地協	連合山形作成のチラシ等を用いた労働相談に関する広報活動や最低賃金引上げ等の街宣行動を通して連合運動が地域に見える活動を展開し、非正規組合員の組織化へ向けた取り組みを推進します。
	連合山形策定の「第8次組織拡大3か年計画」に準じる事とし、連合山形・構成組織と共に三位一体で取り組むべく連携を強化し、幹事会での情報共有化を図りながら未加盟組織オルグ活動を推進します。
	連合山形主催の「ユニオンリーダー養成講座」や「ワークルール検定」に対し積極的な参加派遣を行い、次世代を担う人材育成に努めます。

6. れんごう山形ユニオン置賜支部活動について

地区	具体的な目標
置賜地協	未組織労働者の問題解決を通し、組織化が必要な事案が生じた場合は、適宜連合山形と連携し、対応して参ります。

7. 青年・女性委員会活動について

地区	具体的な目標
置賜地協	『運動の柱』を遵守し、女性委員会・青年委員会活動を推進すると共に、性的指向・性自認(SOGI)の尊重など多様性に関する学習等を通じて若年層・女性層の労働運動の前進を図ります。
	連合山形からの各種要請に対し積極的に派遣し、学習や青年・女性委員会諸活動の盛り上げに努めます。

8. 政策制度への取り組みについて

地区	具体的な目標
置賜地協	連合がめざす政策・制度の実現に向け、連合最重点政策を基本に各自自治体・行政機関等へ要請行動を実施します。
	連合山形方針による請願活動では議員団と連携を強化しつつ対応し、全ての議会への請願提出に努めます。

9. 旗開き・新春の集いとれんごう愛のカンパ活動について

地区	具体的な目標
置賜地協	『運動の柱』を遵守し、各地区連絡会や地区労福協事務局と連携を密にしながら開催可否を慎重に検討して参ります。また、れんごう愛のカンパ募金活動については、各地区で開催される旗開き・新春の集い会場での実施を基本としつつも、様々な活動の場において広く善意をいただける機会を設け推進して参ります。
各地区連絡会	『運動の柱』を遵守し、地区労福協事務局と慎重に開催可否を検討し、開催可能と判断した場合は、感染防止対策を講じたうえで地区労福協との共催による新春の集い・旗開きを開催し、併せてれんごう愛のカンパ募金活動を新春の集い・旗開きにおいて実施します。

10. 連合置賜としての活動の拡大について

地区	具体的な目標
置賜地協	組織内外への地協活動の積極的なアピールを目的に、機関紙の発行とホームページ・Facebookの随時更新を行い、構成組合員や未加入組織の正規・非正規労働者に対する情報発信ツールとなる様、教宣活動を推進して参ります。
各地区連絡会	『運動の柱』を遵守し、各地区連絡会において地区労福協と連携し構成組織、支援議員団との学習会や意見交換交流会を開催し、組織の活性化を進めて参ります。

11. 各地区労働者福祉協議会との連携について

地区	具体的な目標
置賜地協	地区労福協・NPO団体等と連携した地域貢献活動や各地区労福協諸活動に対し、賛助金等の財政支援を行います。
各地区連絡会	地区労福協・NPO団体等と連携した地域貢献活動や各地区労福協諸活動に対し、各団体と連携しながら積極的に取り組みを進めます。

12. 2022年度山形県勤労者体育祭地区大会について

地区	具体的な目標
置賜地協	『運動の柱』を遵守し、県労福協の開催方針や要綱に沿って各地区との連携を密にしつつ、取り組みを進めます。
各地区連絡会	『運動の柱』を遵守し、県労福協の開催方針や要綱に準じ、地区労福協との共催で地区大会を盛り上げ、参加者の増加を図るべく積極的に取り組みを進めます。

13. 平和行動への取り組みについて

地区	具体的な目標
置賜地協	2022年度の平和行動は、持ち回り内規により昨年度同様「広島」と「長崎」が東置賜地区連絡会より各1名、「根室」が西置賜地区連絡会より1名となっている為、連合本部や連合山形の方針を踏まえ各地区構成組織の協力を得ながら積極的に派遣し、平和行動の推進と学習、そして交流を図って参ります。

14. 対外人事について

地区	具体的な目標
置賜地協	行政機関等からの要請が有り次第、幹事会や各地区役員会を通して協議し、積極的に派遣致します。

15. 議員団との連携強化と各級選挙への対応について

地区	具体的な目標
置賜地協	『運動の柱』を遵守し、連合置賜議員懇談会全員協議会を開催し、議員団と連合置賜役員との連携強化の取り組みを進めます。
	2021年10月21日任期満了を迎える第49回衆議院議員選挙での加藤健一氏支援を積極的に推進すると共に、2022年7月25日任期満了を迎える第26回参議院議員通常選挙において、連合山形の方針に沿って対応致します。